

小黒喜夫さんに特別功労賞を授与

～静岡県協会記録委員会～

去る平成28年7月1日、71歳で逝去された小黒喜夫さんの大きな功績を讃え、8月7日（日）エコパスタジアム研修室において、静岡県協会記録委員会より特別功労賞が授与された。中日本総合男子選手権大会の最終日となったこの日は、派遣記録長として来静していた東海記録委員会の筒井照雄委員長（三重県）に加え、静岡県協会記録委員会の池田雅彦委員長、芦澤忠・前委員長をはじめ、西部地区の県記録委員会メンバーを中心に中部・東部のメンバーや大会記録員も含め、20名以上の公式記録員がこの表彰式に出席した。



小黒喜夫さんは、公益財団法人日本ソフトボール協会の第1種公式記録員の資格を取得し、各種県大会、東海大会、全日本大会、国民体育大会等の大会記録員、大会副記録長、大会記録長などとして活躍。平成16年度より平成27年度までの12年間、特定非営利活動法人静岡県ソフトボール協会記録委員会に所属し、平成20年度からは同副委員長（西部ブロック長）として、後進の育成に多大なる尽力をされた。さらに、平成20年度から平成23年度、平成26年度の5年間にわたり、日本リーグ派遣記録員として計13回の派遣に対応し、県外記録員の育成にも寄与された。



在りし日の小黑さんを偲び、上映されたスライドには、お孫さん達のまなざしも注がれた



開式のあいさつをする
内野吉博・副委員長





「小黑さんが喜ぶよう、いい顔で撮りましょう！」笑顔で写真に納まるご遺族の皆様と東海記録委員長、県記録委員会のメンバー。
小黑喜夫さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。